

# "K J 法流" コーチング

No. 333

## 目的

相手の気持や思考をすばやく記録する技術を練習する  
信頼関係の構築や傾聴の重要性を理解する  
相手に考えさせ気づかせる対話の技術を学ぶ

## 特長

生きがい・創造的人生の提唱者、川喜田二郎の技術  
コーチングの初心者でも実行でも応用しやすい技術

## 対象

チームリーダー、管理職  
(最適人数 10数名 ~ 最大 16名程度)



## Table of Contents (Total 6H ~ 7.5H)

### イントロダクション

研修体系における本セミナーの位置づけと役割  
セミナーの目的、内容、進め方およびゴール

## 1 コミュニケーションの種類と原則

コミュニケーション不全の4つのパターン  
伝わるための、たった一つのポイント  
人間力の発揮(誠実さと共感力)  
レポート(信頼関係を築くコミュニケーション)

## 2 傾聴力 (聞いてはいるけど聴いてない)

傾聴の姿勢と態度  
うなずきと繰り返し  
表情と声のトーン  
沈黙とうながし

## 3 記録力

情報収集の原則: 内部探検と外部探検  
点から線へ、線から面へ、野外科学の点メモ技法  
感情と思考の見える化  
記録を使って、記憶を整理

## 4 "実践" 「対話型コーチング」

相手の話をすべてメモする  
話の広がりを大切に  
相手に考えさせる  
大事なことは、最後にでてくる

### 振り返りとまとめ

反省点および達成度の確認  
気づきとアンケート